

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	15	枝番	2
評価担当課	建設水道部 建築課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	新北斗団地改善事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	8	住宅の整備
		基本事業	1	公営住宅建て替え促進
		実施計画事業	1	公営住宅建て替え事業

2 事務事業の概要等

条件

目的(何のために)	安全安心な居住環境の提供			
対象(何を又は誰を)	住宅に困窮する市民			
手段=活動(仕事) (どのような方法で)	耐久性や居住性の向上、安全性の確保が改善により対応できるとした新北斗団地は全面的改善による整備を行う			
意図(どのような成果を期待しているか)	安心できる居住環境を提供することにより定住化を図る			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 <input checked="" type="radio"/> 請負 その他( )
事業実施期間	始期	H22 年度	終期設定	<input checked="" type="radio"/> (終期 H32 年度) ・ 無
根拠法令・条例等	公営住宅法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (28年度)
	1	2			目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1	当該年の新北斗団地改善の着工戸数	戸	目標	8	8	8	8	
		実際に改善した戸数		実績	8	8	8		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
成果指標	1	新北斗団地改善戸数(累計)	戸	目標	12	20	28	36	48
		改善が完了した戸数(累計)		実績	12	20	28		
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳
事業費	79,697	88,027	85,226	0	
国道支出金	42,538	39,550	38,147		改善事業費 74,750
地方債	35,983	48,451	47,034		駐車場整備 2,961
その他					既設住宅除却 2,825
一般財源	1,176	26	45		設計業務 4,691
人件費	7,351	7,292	7,115	0	85,226
平均給与額	6,683	6,629	6,468	6,468	※表中の事業費内訳は、別添の北斗事業
担当職員数	1.10	1.10	1.10		との一体事業費によるもので、当該部分を
総事業費	87,048	95,319	92,341	0	按分にして計上したものである。
対前年比(%)	—	110	97	0	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	10,881	11,915	11,543	
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	なし
改善点	指摘事項 <b>有</b> ( <b>無</b> )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 4 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	総合計画実施計画搭載に搭載した事業で、住宅マスタープラン及び公営住宅等長寿命化計画に基づく事業として引き続き進める。公営住宅整備基準や住宅関連規定に基づいた仕様規定で設計しており、安定的に安心して暮らせる住宅を供給できている。
有効性 4 目的を達成するための方法として有効か？	a	低所得者の住宅困窮者の住生活を向上するため、耐久性や居住性など時代背景に沿わない公営住宅を長寿命化させる改善手法は有効な手段である。
効率性 4 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	毎年の実設計画において手法やコストを意識し、華美なものとならないよう努めている。
公平性 4 受益者負担は適正か、受益者に偏りがなにか？	a	受益者(入居者)の負担は住宅使用料として毎年の収入申告から適正な費用を徴収している。また、本団地は建替えであり従前入居者の住替え先の選択肢は入居者にあり団地限定で偏りはないと判断している。
達成度 4 活動指標、成果指標の達成度は？	a	計画どおりに事業を着工し、現在までに新北斗団地で28戸の整備が完了しており、速やかな住替えが行われている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	新北斗団地の建替事業は公営住宅等長寿命化計画に基づき順調に進ちよくしている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり